

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		農業基盤整備事業			担当課	農業振興課	担当係	整備係	管理番号	3712
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり			根拠法令 個別計画等	土地改良法、深谷市単独土地改良事業費補助金交付要綱、深谷市土地改良区補助金交付要綱、			
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		農業の生産性向上や農業集落の生活環境の改善を目的とした農業振興地内の道路や用排水路の整備など、農業基盤の整備に資する事業である。 また、市が所有する農業用ため池や用排水路の整備に関する事業実施及び県や他市町、土地改良区、水利組合や各種農業団体が実施する農業基盤整備に資する事業への負担金や補助金の支出を行う事業である。								
目的 ※何のために		農業生産性向上、農業集落の生活環境の改善を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		農業施設、土地改良施設の整備、補修等の事業を行う団体（県等）及び事業を要望する自治会								
手段 ※どのように		上記団体の実施する事業に対し負担金を交付する。自治会の要望する事業について調査検討し、道路河川課に測量・設計・工事等を執行委任する。また、ため池の耐震診断調査を行う								
成果 ※何を求めるか		農業施設、土地改良施設の補修・新設・長寿命化・維持管理の低減								
執行体制		■ 職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	6	農地費	農業基盤整備事業	187,350,666
本事業の 主な業務		・ 県営事業に関する連絡調整、負担金支出							・	
		・ 農業基盤整備事業負担金の支出							・	
		・ 道路、排水路整備等の整備要望への対応							・	
		・ 農業用ため池等農業施設の管理							・	
		・ 市単独土地改良事業補助金、多面的機能支払交付金等の補助金交付							・	
		・ 国営事業に関する連絡調整、国営付帯事業の実施							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	・農業施設の維持管理・負担金の交付・補助金の交付	
事業費	予算（現額）	83,311,000	52,536,000	45,650,000	62,343,000	211,941,000	215,016,000	
	決算額	80,065,596	52,080,981	38,008,225	53,353,016	187,350,666	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	8,860,000	3,250,000	0	4,300,000	56,420,819	75,058,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	1,001,400	835,000
		一般財源	71,205,596	48,830,981	38,008,225	49,053,016	129,928,447	139,123,000
人件費	従事職員数（人）	0.63	0.55	0.55	0.59	2.62	1.95	
	人件費相当試算※	4,900,770	4,280,100	4,323,550	4,800,240	20,336,218	15,856,129	
総事業費試算		84,966,366	56,361,081	42,331,775	58,153,256	207,686,884	230,872,129	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	県事業負担金交付額	目標値	千円	40599	47057	27839.88	33820.05	11647.85	0	
		実績値		37980	44647.54	20650.07	33060.39	11832.21	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			指標が予算額のため30年度以降の目標値の入力が不可能 / 支出命令等による						
	実績値の算出式									
活動指標 2	道路・排水路事業費	目標値	千円	19900	30000	30000	30000	30000	30000	
		実績値		24933	0	0	488.4	1251.8	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			単年度で寄せられる要望の概算見込額 / 支出命令等による						
	実績値の算出式									
成果指標 1	県営事業実施地区数	目標値	地区	8	9	8	7	7	7	
		実績値		10	8	8	9	9	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業実施計画による / 県の報告書による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	道路・排水路工事箇所	目標値	件	1	3	3	3	3	3	
		実績値		1	0	0	0	1	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			予算額と事業費の過去実績による概算 / 支出命令等による						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	県営事業負担金については、突発的な事業費増も含めて、実施事業分の市の負担について交付した。また、道路・排水事業については、要望箇所のうち、1箇所工事実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	県営事業については、予定地区について実施できた。また、道路・排水事業については、1箇所工事実施した。
			評価者 整備係長 吉岡 俊和

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	負担金・補助金交付事務について、事務の必要性を精査し、併せて事務の平準化を行うことで、効率化を図った。
			評価者 整備係長 吉岡 俊和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農業基盤整備事業	担当課	農業振興課	担当係	整備係	管理番号	3712
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>県営事業については、今後とも県と連携を図り、安定的な事業推進を図っていく。また、農道や用排水路等に対する要望については、必要性の検討を十分に行い、関係かと調整の上、優先順位の高いものを対応していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	産業振興部次長兼農業振興課長 三ツ橋 正記				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

